

福不城と氏藤

発行日、十一月廿一日(毎月三回)
 編輯兼發行印刷人 北川 秀雄
 發行所 福島縣平町南町七十八番地
 廣告料 五號十二字詰一回 五十錢
 一部十錢 一月月二十錢 送料五厘

人? 鬼? 鬼?

慘たり丸ほん店主暴舉の跡

僅少殘金猶豫の哀願を退け

店員數名を指揮營業什器を奮取す

悲境に泣くカフエー藤彦

弱者を救への義憤の聲巷に滿つ

今や世を擧げて不況のどん底にうめき中産以下は差別なく生活苦の喘ぎに喘いで居る慘憺たる世相であり而も現實である昨日も今日もそして明日もともすれば人生の敗慘者として落伍せんとしては涙ぐましく隣人愛に慰めつ慰められては生きて行く人の姿を單に聞くのみでなく吾々は實際目のあたり見せられて居る今日である、かかる苦難時に於ては資本家たる否とに關はらず如何にせばよりよく生き得るかお互眞剣に考究なし共存共榮を計るべきが即人類愛の主旨なる筈である、然るに

何たる鬼畜にも等しき所業なりや心ある者の涙なくして讀み得ぬ左の哀話はひとりカフエー藤彦對丸ほんの問題なるのみならず平町三丁目南側中央目抜にござ然大店舖を構へる丸ほんが資本家たるの故を以て所謂弱肉強食を地で行く横暴振りは社會道徳の攪亂者

人道の破壊者として斷じて許すべからざる所業として他なし本紙敢然筆誅を加ふると同時に大方讀者諸彦に昨日は人の身今日は吾が身明日は何人の上に降りがるやも計られぬを考ふる時通過し得ざる一大

社會問題として嚴重なる御批判を乞ふ次第である

抑々藤彦は平町三丁目停車場通りの一角に大兼かつ

藤彦方に於ては刻下の不況時に拘はらず誠心返済方に努力すると共に立派にその責を果しつゝあつたのである、勿論その間に於て契約より多少の遅延はまぬがれずとするも刻下の不況時に於てもか細き女の腕により八百五十圓也を僅に八十圓の殘金に漕ぎつけたる事は藤彦主人大兼かつ氏が丸ほんに對し如何に誠意を有するかを如實に物語つて餘りある然るに何事を去る七月二十一日午後四時突如丸ほん店主佐々木俊雄は物々しく店員七八名を引具の上藤彦に至り殘金支拂を申出で

若し即刻肯んぜざれば營業用什器一切を持ち去るべしと殆んど威嚇的に迫りたるに對し大兼かつ氏は如何様にして明日までに解決の方策を取るべきにより猶豫ありたき旨

再三再四哀訴懇願 なしたるにも拘はらず家人の泣き叫ぶ姿を尻目に佐々木俊雄は引具せる店員數名を指揮し店內丸ほんによる調度什器一切を丸ほん店舖に強取運行するの暴舉を白晝而も公然敢てなしたのである無謀とも言ふべく亂暴とも言ふべく平町の其處彼處に頓する高利貸すら顔を背ける暴舉にして言語間斷沙汰の限りにて我人共に許すべからざる所である、此處に獨り哀れを止めしは藤彦にて營業用什器を強奪せし上は

營業休止 を余議なくさるの悲境に立ち至つたるのみならず白晝而も衆人環視の中に於て被りたる

社會的侮辱こそ最も藤彦の致命と爲す所にて右するも左するも女のみで果ては果然自失爲す所を知らざる状態にありし時捨てる神あれば救ひの神の諺にて逸早くこれを聞くや義憤に燃ゆる本社長齋藤岳洞、常磐タイムス社長高橋憲太郎の兩氏は兩者の爲めに

是非々々の立場より 鋭意これが調停策を講じたるも頭迷没義道なる丸ほん主は已れの非行を認めながら猶世間態を恐れ已が走狗を以て餘んする平町三丁目裏某カフエー主其他を使走しこれを隠蔽せんとする卑劣なる行動を見たる兩氏は此處に決然藤彦の爲めに取敢へず假營業什器を仁俠兒丸昇軒主吉田昌弘氏の計ひにて調ひ營業を繼續させる、一方

非人道 極りなき丸ほん主を徹底的反省を促

がさん爲には言の手によりて裁斷を下すに若かす

司法當局 の手により降魔の劔の下るは疑ふべくもなく猶又一般識者及カフエー同業者中の大半は本問題は藤彦のみならず「カフエー」同業者全体として將來に對する一大惡例を殘すものとしてあくまで弱者を救へ

藤彦を助けよと惜しみなき聲援を送りつゝあり方々一般も其都度かゝる非道徳的行動をとらるゝとせらるるとすれば什器其他の何品に拘はらず少くなくとも

現金以外 の注文は未恐ろしく二の足を踏み居る有様なりとは身から出た錆とは言ひ笑止の限りである

以上の事實を綜合し最後の斷案を下さんに即ち藤彦が支拂ふべき殘金八十圓を丸ほんに對して有すること事は實であると共に誠心支拂ふ意志明瞭なること事も事實であるが故問題はない筈である然るに理由ありとすれば僅かにかゝる事實を理由として、敢て謂ふ殆んど

計畫的 に店員數名を引具して白晝堂々強盜にも等しく殆ど常識を以ては判斷し得ぬ暴舉を爲したる事はよしんば理由の如何を問はず社會道徳よりしても將又平町に於ける

傳統的老舗として誇る丸ほんとし取るべからざる所業なりと共に自ら光輝ある丸ほんの歴史に一大汚点を印し自身招いで墓穴を掘りたるものと惜むものである

さるにても藤彦の僅かの期間の遅れたる故を以て支拂はされし犠牲は餘にも大き過ぎる

又前記三丁目目裏某カフエー主カフエー同業者として組合幹部 として組合員を擁護すべき立場にあり乍敢て之を爲さず却つて資本家丸ほんの走狗を以て任じ之に迎合せんが爲同業者を裏切りて悲境に陥れ恬として恥ざる行動一度省みて悔なきか

而して他日丸ほん店主驕然自ら悟りたる曉か弱き藤彦に與へし物質的打撃は暫らく問はず社會的屈辱致命的打撃に對し何を以て償はんとす 本紙一度起ち正義の筆をとつたる以上あくまで丸ほん店主の反省 せざる以上ペンの綺り限り筆誅を加ふるの手斷じて止めざる事を附言する

請負額金八百五十圓也
 支拂總額(昭和七年一月迄)
 金七百六十六圓五十錢也入

内詳
 金參百圓也 (工事着手と同時に)
 金九十六圓也 (昭和六年八月)
 金百五圓也 (日掛金四圓也)
 金百八十四圓五十錢也 (全年九月日掛金參圓五十錢也)
 金百八十四圓五十錢也 (全年十月より七年一月迄日掛金壹圓五十錢也)

右日掛外に
 金十四圓也 (昭和六年八月)
 金十五圓也 (全年九月)
 金十圓也 (全年十一月)
 金拾貳圓也 (昭和七年三月)
 金拾貳圓也 (全年四月)

差引殘金八十參圓五十錢
 以上よりして檢討したる時

温泉紹介

【其一】

谷地温泉

涼味の天國
ホーホケキョー……
これはまぎれもない驚の聲

高き木田茂平氏村議石川倉吉氏外有志等が全国的の景勝地温泉場として周知せしむべく熱心に努力中なれ

谷地温泉行程 (汽車片道二十四銭)
平町久之濱
久之濱 谷地温泉 (自動車片道三十銭)

平町民政同志會有志 (不願)
阿部唯次郎
吉田寅五郎

湯本町 山崎武頼
中元大賣出し
三井吳服店

吉健鐵工場
平町木田町裏新道
諸橋敬一郎

士木請負業 平町 猪狩菊三郎
士木請負業 平町 佐々木健一郎

暑中御伺

代議士 比佐昌平

縣會議員 萩原義雄

縣會議員 石川徳壽

植田町長 鷺清昇

赤井村 草野三郎

前縣會議員 若松美三

勿來町 大平睦四郎

勿來町會議員 小松章

勿來町會議員 赤津修一

勿來町會議員 生田目信次郎

全 四倉町會議員 植田萬次郎

全 消防組頭 小港宗吉

大野村 中野幸平

湯本町

山崎武頼

植田町 秋山村木店

小宅嘉一

高木佐久馬

植田三郎

高木武士

植田町 柳内忠吾

植田町 成瀬巴三

内郷村 根本林平

内郷村會議員 志賀留吉

好間村會議員 森永太郎

好間村會議員 猪狩貞一

内郷村消防組頭 佐藤三平

古物問屋 清野彦四郎

土木請負業(湯本町) 小野恒吉

遠藤俊一郎

江名濱町

小名濱料理店 保健組合

組合長 相澤寅松

副組合長 小野新吉

會計 大澤新吉

衛生組長 小畑新直

高原新吉

上遠野藤彌

山出屋

光淋屋

顧問 赤澤辰吉

縣代議員 柳澤今朝吉

近日開業 山内耳鼻喉科醫院

土木請負業 平町 只野忠康

平運送店 色川光以

鈴木齒科醫院 平町南町

三井商店

電話一五六番

履物問屋 三井商店

なかや洋服店 平町三丁目

鮮魚仕出し 魚 敬

電話六一七番

電氣諸機械 田邊商店

電話二九四番

平町青年團長 多田井笑次郎

二葉印刷所 電話一九三番

阿部石炭部 電話一三七番

磐城之民政新聞社 社長齋藤岳洞

社員及川日正

社員及川日正

社員及川日正

社員及川日正

社員及川日正

暑中御見舞

小田炭礦萩原礦業所 礦主 萩原申八	五十嵐炭礦不動澤礦業所 礦主 高階一郎	磐城炭礦株式會社礦業所 入山採炭株式會社礦業所 吉村炭礦々業所 古河炭礦株式會社好問礦業所 二本松電氣會社小名濱出張所 小名濱町信用購賣組合 湯本町信用無盡株式會社 湯本町藝妓置屋組合 湯本溫泉旅館組合 磐城土地建物會社 片倉磐城製糸株式會社 東部電力株式會社平營業所 磐城信用無盡商會 郡山無盡株式會社出張所 平運輸株式會社 平町銀行組 平町私立學校長懇和會 平町旅館業組合 平町藝妓屋組合 平町西洋料理組合 平町三業保健組合 石城郡町村長會 石城郡小學校長會 平町料理屋組合 四倉萬年瓦工業株式會社 福島貯蓄銀行支店	杉山炭礦々業所 礦主 杉山今朝吉	堀江工業株式會社 礦主 江口忠一	隅田川炭礦 礦主 小田川吉治	植田水力電氣株式會社 社長 植田成通	平町理髮業組合第一部 部長 加藤卯之吉	石城郡理髮業組合 組合長 比佐信太郎	湯本町消防組頭 湯本町消防組頭 井坂千代松	錦村消防組頭 山崎	植田町消防組頭 坂本龜太郎	平町佐賢學舍 校長 大和田豐吉	河田鐵工場 河田梅吉	小名濱町 町長 鈴木木榮	助役 高木保	泉 村上 泉 村上 助役 上野新重	村長 柳子祐太郎	村長 柳義一	村長 石川倉吉	久之濱小學校長 木田茂平	小名濱町々會議員 立花雄七	小名濱町 若竹秀吉	
四倉町 町長 新倉盛	小名濱町 校長 水野比口	小名濱町 久保田醫院	小名濱町 中田醫院	植田町 前田醫院	植田町 片岡醫院	小名濱町 小野晉平	川部村長 兒玉萬平	赤津庄兵衛	小名濱町漁業組合	勿來町役助 阿部醫院	泉 村 阿部醫院	湯本町 荒物雜貨商 吉田恭平商店	町會議員 關內正一	町長 高橋龜松	助役 佐々木瀧若	平町長 伏見寅彦	今助役 酒井寅之鋪	內郷村 佐藤繁商店	植田町會議員 太田稻城	勿來郵便局長 赤津一			
生そば 福島屋 小名濱町 電話三二三番	小名濱登記所長 佐々木善作	土木建築請負 鈴木仙松 郡山市	土木建築請負 鈴木省三 江名濱町	平町簡易保險健康醫 國井正	湯本藝妓組合長 鈴木重三郎	同會計 大平長次	豈間漁業組合長 馬目常吉	酒造業 近藤吉松	和洋御料理 つたや 湯本町 電話一〇四番	釜屋商店 電話九九九番	平南町 昭和活版所	內郷村 薄ガヌ吉	諸肉卸小賣 三二三屋 電話三二三番	平土木監督所長 小林晴吉 平町鎌田町	金成國雅 平町新川町 電話六〇一番	長材木店 平町新川町 電話六〇一番	大黒屋商店 平町三丁目 電話一六六番	玉章堂印刷店 平町三丁目横丁	小池雜貨店 平町南町	洗濯 小松崎本店 平町二丁目川岸 電話三七九番	古市活版所 平町仲町 電話三三三番	果實青物問屋 高子商店 平町長橋町	合資日光商會 平町三丁目 電話二九番